

2019年度 秋学期

# 公開講座ご案内

## 「英文報道の現場から —日本の報道と世界の報道の違いから見えるもの—」

英語の報道と日本語の報道はどう違うのでしょうか。英字新聞の記者、編集者としての仕事を通じ、ニュースが瞬時に世界に発信される時代の報道について考えます。また、明治から120年にわたり続いてきたジャパントイムズの紙面から、我々は何を学ぶことができるのでしょうか。そこから見えてくる日本と世界についても講演します。

あわせて、多様な人材が働くジャパントイムズにおいて、意欲ある女性が育児をしながら無理なく働き続けるために講じられている施策についてお話しします。



### 大門 小百合 (だいもん さゆり) プロフィール

上智大学外国語学部卒業後、ジャパントイムズに1991年入社。報道部の政治、経済担当の記者を経て編集デスクとなり、2006年報道部長、2013年執行役員編集担当となり、同社で女性初の編集部門トップとなる。2018年1月から2019年まで執行役員・編集局長。2019年7月、執行役員・論説室論説委員に就任。2000年ニーマン特別研究員として米・ハーバード大学にてジャーナリズム、アメリカ政治を研究。2005年キングファイサル研究所研究員としてサウジアラビアのリヤドにて現地の女性たちについて取材、研究。2016年 Forbes Japan 主催「Japan Women Award 革新をもたらすリーダー賞」受賞。著書に『The Japan Times 報道デスク発グローバル社会を生きる女性のための情報力』（ジャパントイムズ）、『ハーバード大学で語られる世界戦略』（光文社）。

- 日時：2019年 10月21日(月)
- 講演：午後 4 時30分～午後 6 時
- 開場：午後 4 時15分
- 会場：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎1階シンポジウムスペース
- 講師：大門 小百合 氏 (ジャパントイムズ執行役員・  
論説室論説委員)
- 入場無料(事前の申込は不要です)

主催：



慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所

<http://www.mediacom.keio.ac.jp>



協力：慶應義塾協生環境推進室